

カミノトピックス

「明るさ」は大事です。

今回は、千歳市富丘1丁目で学習塾を営む『村上進学塾』様をご紹介します。代表の村上佳道先生に塾の取り組みとLED化にしたお話しをお伺いして来ました。

村上佳道先生



【1人1人の生徒の夢実現のために真剣に学び人格を磨く場を提供します。】

これが塾の理念で、小学生から高校生まで多くの塾生が夢実現のため日々努力をしているそうです。子供たちに常にお話しているのがみんなの心の中には「夢のスイッチ」があるということです。

「夢を持つと毎日が楽しくイキイキ生きられる」そのために努力をしなければならない。夢は未来のためでもありませんが、今を楽しくしてくれます。わくわくすると、自然と笑顔になります。塾での教育を通して子供たちが笑顔で、わくわくする毎日を送ってくださることを願っているそうです。

塾の講師をしているのは、塾で学んだ卒業生たちが後輩のために教えてくれています。これは、代々引き継いでいる伝統になっています。大変有りがたいと感謝しております。

6月に全教室をLED化にしました。

1番の理由は、明るさでした。人は、太陽の日を浴びると健康なり、元気をもらいます。

蛍光灯の照らす光が暗かったり切れていては、子供たちも明るくなりません。

塾の時間は、講習会や土日以外は夕方からの授業となります。ですから、明るさが大切となります。

今回LED化にして子供たちからは、「黒板に書くチョークが見やすくなった」「手元がきれいに見える」「前よりも授業に集中できる」等大変好評です。

但しほこりが目立つようになったおかげ今まで以上に掃除をし、塾全体もきれいでき、凜とした空気で最高の教育のおもてなしができる様に頑張ります。(談：EYES・斉藤)



夜-外から塾全体



天井



教室



高校部

備えあれば・・・

6月某日、私の親族が登校中の小学生に自転車でぶつかりました。朝9時に私の携帯に電話が入り、最初の報告では軽くぶつかって腕に擦り傷が出来た程度だけど、学校の真ん前だったので大事を取り教頭先生に連絡し病院にいっしょにいきますとの連絡でした。

昼に2回目の電話が入り、右手の手首を骨折していたとのことでした。事故当時の状況を聞いてみると自転車で車道を走っているところへ、小学生が友達とふざけて正面を見ずに早歩きをしていたようで、あぶない！と思ってブレーキをかけたところぶつかってしまったそうです。小学生もよそ見をしてぶつかったので受け身をうまくとれなかったみたいです。両方に不注意がありましたが傷ついたのは小学生の方なので当方の方で治療費、タクシー代等を払うことにさせてもらいました。事故扱だったので、保険がきかず最初の治療費がタクシー代も含め38,000円かかりました。夕方、当方で加入している保険で治療費が出るものはないかと調べましたが、自転車保険は自転車の盗難のみが対象で、最近の火災保険は結構ちょっとした事故のオプションもついているとの情報を得て調べてみましたが25年前に入ったもので建物が対象で、自動車保険もダメ、生命保険もダメと4つの保険すべて該当しませんでした。

その後、自動車保険に不慮の事故に対して毎月110円足せば保険で治療できると聞きすぐに加入しました。

皆さんもそうかもしれませんが、自分たちがこんな事故を起こすなんて思ってもいないもの。

起こして初めて「備えあれば憂いなし」という言葉がうかびました。これから夏に向け子供たちが活発に動き回ります。

この記事を見て他人事ではなく「私も気を付けよう」と思っていたら幸いです。

(談：EYES・田中)



「介護」に思うこと・・・

今回は、「介護」について書かせていただきます。

難しいことを書くのではなく、先日我が家で体験した事です。

我が家は、70歳の両親と98歳の祖母と私の4人で暮らします。

両親は農業を営んでおり、朝早くから夜遅くまで農作業をしておりましたので、4人兄弟の私たちが小さかった時は、食事や私たち兄弟の世話など、祖母に面倒を見てもらっていました。

その後は90歳までは「じっと、してられないんだ」が、口癖で日中は暗くなるまで、家の周りの畑仕事や庭の草取りなど、夏の暑い日でも黙々と作業していました。

三度の食事はこちらが言わなければ、おかずに手を出さず漬物だけ。私が横から「体のため」と、お肉やお魚を差し出すと迷惑そうながらも口にしていました。

昔からその様な食生活だから(!?)でしょうか、脂質・コレステロールなどには縁が無いようで、そういった類の薬は、一切飲まなくても健康でした。

記憶もしっかりとしていて、親戚の名前や誕生日は、さっと答えていました。

しかし、5年前から骨が弱ってきたのか、急に痛みから立ち止まり痛くて歩けなくなる事が多くなり、外に出ることもなく、家の中でテレビを観たり本を読む毎日となりました。

そうなったからでしょうか、2年前から痴呆が始まり、月に2・3度遊びに来るひ孫たちの顔を見ても名前が出てこなくなりました。

そして昨年の夏、居間で歩いていて転んでしまい、腰骨を骨折し入院。

その時、転んでいた祖母を椅子へ移動させる際に驚いたのですが、動けない体の人を立たせ、移動させることは重く大変な事でした。

4ヶ月の入院生活で骨折は治るも、年齢からか自立での歩行は出来なく車椅子の生活です。

退院後は、併設の老人施設に移り、リハビリ生活していますが、痴呆は進み、両親以外の私たちのことは分からなくなってきました。

こちらの施設は自宅復帰が目的の為、先日2週間の一時帰宅での家族介護を行いました。

1人では移動できませんので、誰かが一緒にいることが必要ですから、家族にとっては初めてのことばかりでした。

施設からケアマネジャーの方に2週間のプランを立てていただき、事前の確認では、家の中の車椅子の動線・介護ベット・簡易トイレなど介護用品レンタルの必要性などをチェックしました。玄関先から居間への段差には車椅子用スロープを父親が作りました。

日中は両親のどちらかが一緒にいることになるため、農作業に支障が出ないようにと、9時から4時までデイサービスを何日か利用したり、ヘルパーさんをお願いしていただきました。

土日は会社が休みの私と一緒にいましたが、食事などの介助はいいのですが、トイレの介助には抵抗がありました。祖母とはいえ男の私が……、介助してあげたい、してあげようの気持ちはあるのですが、どこかに抵抗をもっていました。しかし、赤ん坊の頃から世話になった祖母、この先は両親だって遠い話ではないしと、少し吹っ切れた感じで介助することができました。

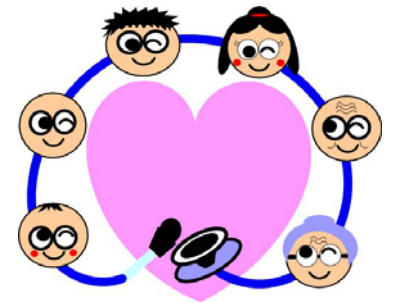
夜は、祖母と部屋と一緒にいての2時間おきのトイレの介助も、自身睡眠できた感がなく日中の眠かったのは、きつかったですね。

現在は本格的に農作業も始まり、祖母には施設での生活を願っています。

2週間の一時帰宅は、あっという間のような長かったようなものでした。しかし、家族だけでは大変厳しいものがあります。やはり、知識あるケアマネジャーさん・デイサービスさん・ヘルパーさん助けなしでは考えられないものがありました。

そして、これからの社会を考えると大変勉強になった2週間でした。

(談：SINKA・後藤)



カラーで勝負!?

先日メーカー研修会でイメージコンサルタントによる営業ファッションの受講がありました。

確かに服装による第一印象は大切ですね。

こんなアプローチをするためには、こんな柄のYシャツにネクタイの色はこんな感じ・・・と勉強してきたとの事です。

色には「ブルーベース」「イエローベース」があり、また、人によって得意とするカラーベースがあります。

女性の受付嬢に好印象を与えるのはピンクのネクタイとか。

男性のそんなかわいい意識も時として必要ですね。

パーソナルカラーとその効果



2013年 6月 30日 VOL. 96

発行元：(株)カミノ

TEL：0123-23-4255 / FAX：0123-24-1381

e-mail：kamino@kamino.co.jp

週末はわりと天気の良い6月。

北海道でも屋外での活動が盛んになる7月の天気はどうでしょう。地域の夏祭りもたくさん予定されています。明るく元気に楽しみたいものです。

更なる景気回復を願いまだまだ「がんばろう、日本！」